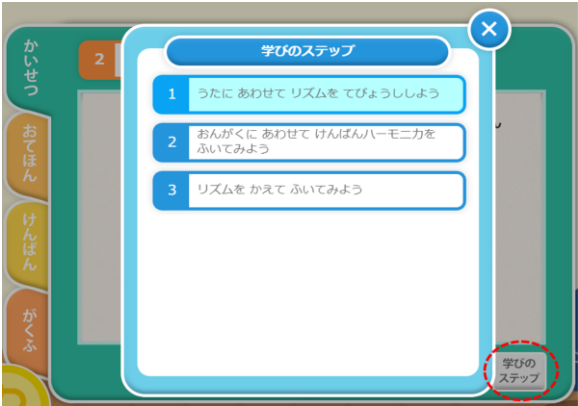
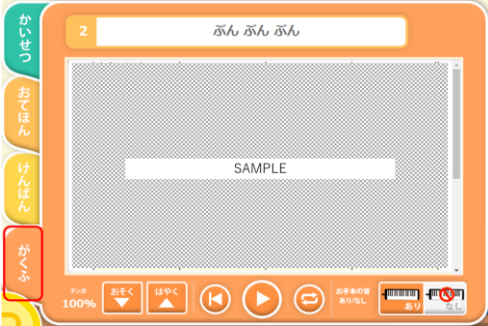
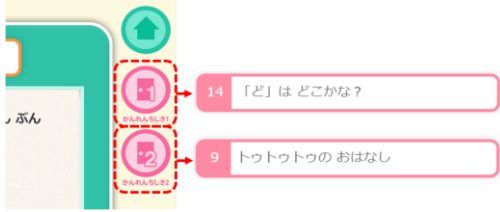
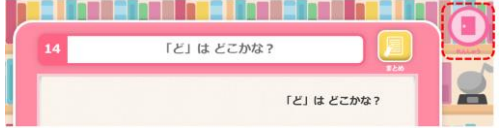


曲名	「ぶん ぶん ぶん」	作詞・作曲者名	ボヘミア民謡／日本語詞：村野四郎
学習のめあて	「ど」のおとで ふいてみよう	使用音	ド

No.	活動内容	学習のねらい・ポイント	使用画面・機能	備考
1	がくしゅうのめあてとまなびのステップをかくにんしよう 本時の学習のめあてを確認し、「かいせつ」のステップ1の「お手本を聴いてみよう」までの動画を流す。その上で、学びのステップを表示して、児童と一緒に確認する。 	・ お手本で楽曲を聴き、学びのステップを確認する 児童に興味・関心を持たせるために、まずは楽曲のお手本を聴いてみましょう。その上で、授業の見通しを立てるために、学びのステップで本時の手順を確認してみてください。	「かいせつ」画面の「学びのステップ」 ※お手本を聴くために「がくふ」画面にて楽曲の音源を再生してもよい	「かいせつ」動画でもお手本を聴くことはできますが、「がくふ」画面でお手本を確認することもできます。基本的に「かいせつ」動画内でも実際に手拍子しながら歌ったり、鍵盤ハーモニカを演奏したりする活動が一通りできるようになっていますが、テンポをゆっくりにしたり、何回も繰り返し練習する場合は、「がくふ」画面に切り替えて学習することをおすすめします。 
2	うたにあわせてリズムを てびょうししよう デジタル教材の「かいせつ」動画のステップ1に合わせて、「ぶん ぶん ぶん」を歌いながら鍵盤ハーモニカのパートのリズム（たん・たん・たん・うん）を手拍子する。 	・ リズムを意識しながら歌う 歌を歌いながら、副旋律の鍵盤ハーモニカのパートのリズムを手拍子することによって、次の鍵盤ハーモニカを演奏する活動につなげられるようにします。お手本の拍に合わせて手拍子できているかを確認しましょう。	「がくふ」画面 楽曲の音源を再生	

No.	活動内容	学習のねらい・ポイント	使用画面・機能	備考
3	おんがくに あわせて けんぱんハーモニカを ふいてみよう 「かいせつ」動画のステップ2では、鍵盤ハーモニカを演奏する流れを下記のように進めている。 1. 使われている音を楽譜で確認する。音はすべて「ド」の音。 2. 鍵盤ハーモニカで「ド」の場所はどこかを復習する。 3. 「ド」の鍵盤を右手の親指で押さえたまま、「トゥ・トゥ・トゥ」とやさしい息で吹く。 4. お手本に合わせて鍵盤ハーモニカのパートを演奏する。	・ 鍵盤を押さえる指とタンギングを意識して演奏する この楽曲の鍵盤ハーモニカのパートは「ド」の音しか使われていないので、どの指で鍵盤を押さえても演奏は可能ですが、今後の学習の発展のためにも右手の親指で演奏するように確認するとよいでしょう。 また、リズムに合わせて「ド・ド・ド」と鍵盤を押しなおしても演奏できますが、タンギングの練習のためにも鍵盤は押さえたまま、「トゥ・トゥ・トゥ」という息使いで演奏しましょう。	「がくふ」画面 楽曲の音源を再生 「かんれんちしき1」 ：「ド」は どこかな？ 「かんれんちしき2」 ：トゥトゥトゥのおはなし	画面の右上にある「かんれんちしき」のボタンを押すと、関連する「まなぶ」のコンテンツの画面が開きます。適宜、復習しながらご利用ください。動画視聴後は右上の「れんしゅう」ボタンを押すと、「プレイ」の元の画面に戻ることができます。  
4	リズムを かえて ふいてみよう 「たん・たん・たん・うん」のリズムから「たん・たた・たん・うん」のリズムに変えて演奏する。「ド」の鍵盤を右手の親指で押さえたままにするのは3. の活動そのまま、息を「トゥ・トゥトゥ・トゥ」にして吹くことがポイント。	・ いろいろなリズムに変えて発展的な活動に 「たん・たた・たん・うん」のリズムに慣れてきたら、他のリズムにも挑戦してみましょう。例えば「たた・たた・たん・うん」など、タンギングを意識しやすいリズムがよいかもしれません。 児童と一緒にリズムを考えてみてもおもしろいでしょう。また、音楽づくりなどでつくったリズムを友達とつなげて演奏したり、小物打楽器を加えたりするなど、楽しみながら活動してみてください。	「がくふ」画面 楽曲の音源を再生 (お手本の音あり／なし)	リズムを変えて演奏する場合は、「がくふ」画面の右下の「お手本の音 あり／なし」ボタンを「なし」に切り替えてご利用ください。鍵盤ハーモニカのお手本音が消えて、伴奏音と歌の音源のみが流れます。 